

平成 30 年 6 月 18 日



新電力への累計スイッチング率(低圧)が 10%を超えました

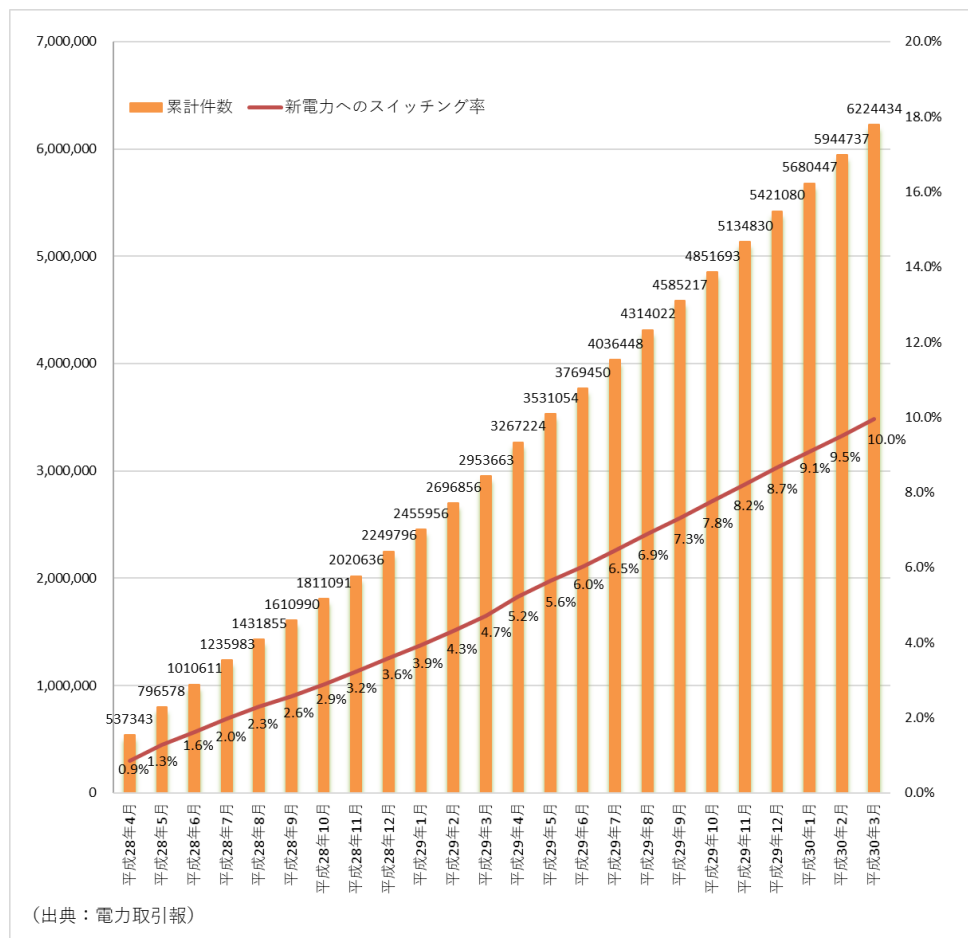
一般家庭向け(低圧)における新電力への累計スイッチング率が、本年 3 月(平成 28 年 4 月の小売全面自由化以降、約 2 年間に)、はじめて 10%(件数ベース)を超えたことが明らかになりましたので、お知らせいたします。

1. 概要

一般家庭向け(低圧)の旧一般電気事業者から新電力へのスイッチング件数については、平成 28 年 4 月の小売全面自由化以降、着実に増加し、本年 3 月に約 622 万件に達し、累計スイッチング率が件数ベースで 10%を超えました。

なお、旧一般電気事業者内の規制料金から自由料金へのスイッチング(インターナル・スイッチング)を含めると 16.2%となります。

[新電力へのスイッチング件数の推移]

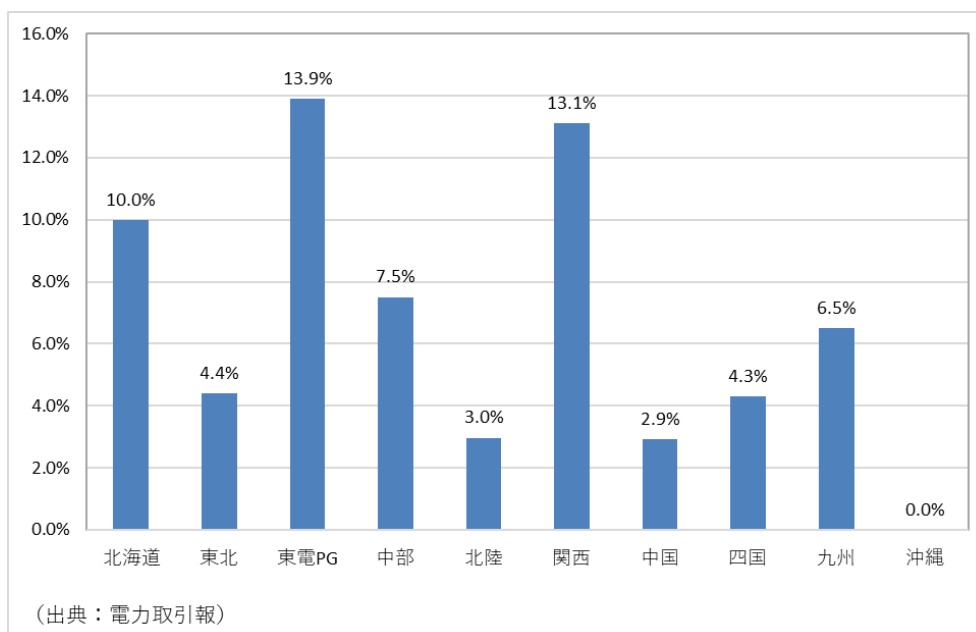


2. エリアごとの新電力へのスイッチング率

エリアごとのスイッチングについては、大都市部を中心にスイッチングが進んでいる傾向が伺えます。

具体的には、平成 30 年 3 月末時点で、北海道エリア：10.0%、東北エリア：4.4%、東電 PG エリア：13.9%、中部エリア：7.5%、北陸エリア：3.0%、関西エリア：13.1%、中国エリア：2.9%、四国エリア：4.3%、九州エリア：6.5%、沖縄エリア 0.0%となっています（件数ベース）。

[エリアごとのスイッチング率]



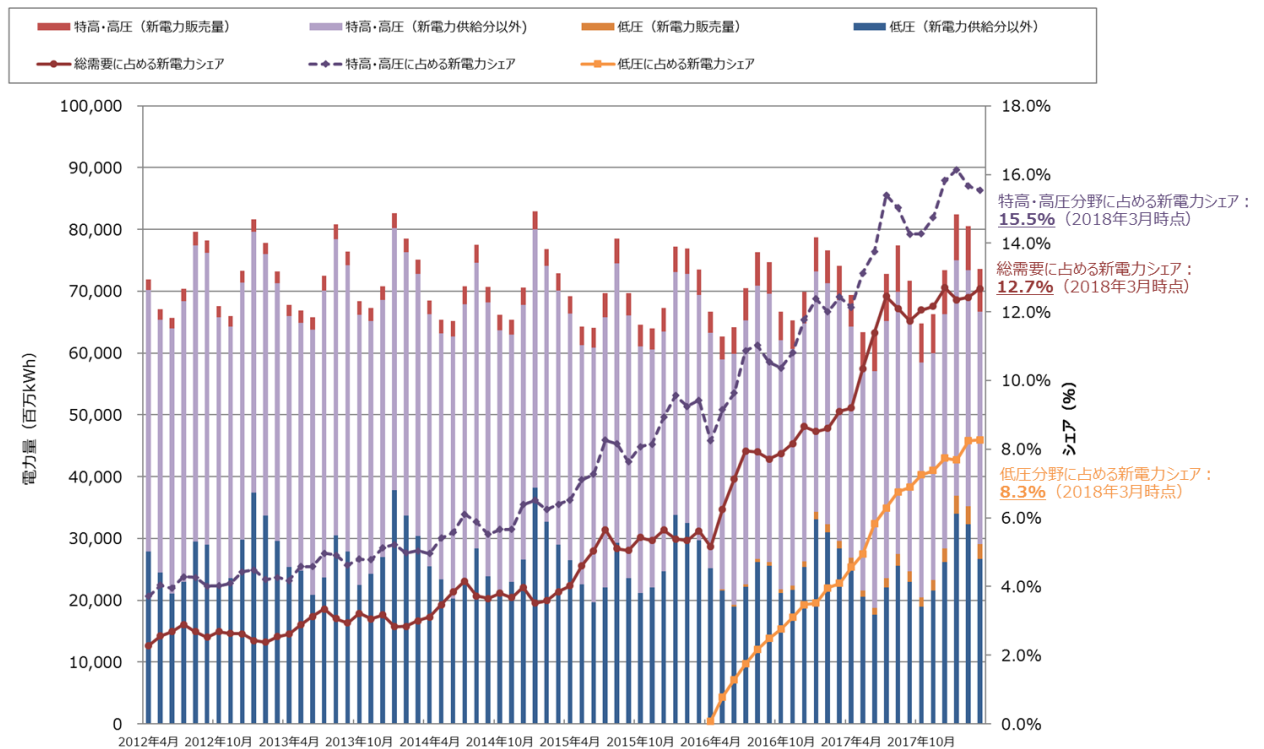
(参考)

平成 28 年 4 月以降、小売市場における新電力のシェアは着実に増加しており、平成 30 年 3 月時点における新電力シェアは、販売電力量ベースでは、約 12.7%となっています。また、電圧別には、特高・高圧分野に占める新電力シェアは約 15.5%、低圧分野に占める新電力シェアは約 8.3%となっています。

注：スイッチング件数(低圧)は、平成 28 年 4 月より自由化された低圧分野のみを対象としており、特別高圧・高圧分野については、平成 28 年 4 月以前に自由化されていたため、今回のスイッチング件数(低圧)には含まれていません。

[新電力シェアの推移]

新電力の市場シェア（2012年4月～2018年3月）



出典：電力調査統計、電力取引報

また、平成30年3月時点の販売電力量（低圧）が上位20社以内の新電力は下表のとおり。

[新電力上位20社（低圧）]

平成30年3月時点

順位	事業者名	シェア
1	東京ガス（株）	20%
2	KDDI（株）	13%
3	大阪瓦斯（株）	10%
4	JXTGエネルギー（株）	7%
5	（株）ハルエネ	3%
6	SBパワー（株）	3%
7	（株）サイサン	2%
8	イーレックス・スパーク・マーケティング（株）	2%
9	（株）ジェイコムウエスト	2%
10	（株）東急パワーサプライ	2%
11	（株）ケイ・オブティコム	2%
12	（株）Loop	2%
13	（株）エネット	1%
14	（株）ジェイコムイースト	1%
15	北海道瓦斯（株）	1%
16	東邦ガス（株）	1%
17	（株）ミツロコヴェッセル	1%
18	HTBIナジー（株）	1%
19	（株）洗陽電機	1%
20	M C リテールエナジー（株）	1%

（出典：電力取引報）

(本発表資料のお問い合わせ先)
電力・ガス取引監視等委員会事務局
取引制度企画室長 木尾
担当者: 曾根、疋田、間瀬、竹澤
電話: 03-3501-1511(内線 4381~4)
03-3501-1552(直通)
03-3501-1568(FAX)